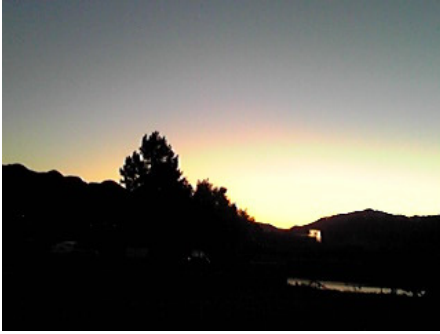


平成 21 年 9 月 1 日 第 9 号



9 月 1 日 龍野の日没

^{ながつき}長月、9 月に入りました。^{ついたち}朔日の龍野は、明け方から日暮れまで、全く雲を見ない、超快晴の日となりました。突き抜ける青空。どこを見渡しても、雲という雲が全くない。四囲が海の日本では、非常に珍しい天候です。そう、20 年程前、イスラエルの首都、エ

日本から遠く離れた地、エルサレム。行ったことのない人には、想像もつかないところだと思います。時たまニュースで流れる中東情勢で

“ 又もやイスラエル人とアラブ人との対立が激しさを増し！ ”

などと報じられ、

“ 馬鹿だね！ 何で仲良くできないのかね?! いつもケンカばかりして！ ”
と、今の平和な日本の国にあっては、とても理解できません。

調べてみますと、今の時点では、国際的にはエルサレムをイスラエルの首都として

認めていないようですね。宗教的に古くから非常に重要な地のようです。

Internet Wikipediaによりますと、

古代イスラエル・ユダ王国の首都で、
エルサレム神殿がかつて存在した。又、
イエス・キリストが処刑された地でもあり、
ユダヤ教・キリスト教・イスラム教共通の
聖地となっている。



オリブ山から望むエルサレム市街地

ともあれ、ボクにとって 20 年前に訪れたエルサレムの地は、今でも忘れ難い所処と

なっています。きっかけは NY 在住のモダンダンサー S 氏からの電話でした。

「能管一本持ってイスラエルに来てくれない？」

それは現地公演に参加してほしい、とのお話でした。

当時、願ってもないチャンス！

とばかり、即座に「承知しました！」とご返事。

公演はエルサレムで 2 回、テルアビブで追加公演も含めて 3 回あり、全て割れんばかりの満場の拍手に包まれた素晴らしいものとなりました。

イスラエル公演の参加で、3週間程現地にいました。最初に入ったエルサレムで過ごしていたある日、町を歩いて、「おやっ！何か変だぞ！」と身体に異変を感じました。

それは、あたまがユラユラ揺れるような、
重力が効かなくなってくるような、いや、
そらに体が吸い込まれていきそうな気配?!
確かに大地を歩いている自分なのですが、
何だか意志とは関係なしに、
足を大地から引き離して、真っ青な空へ持っていこう！

思わず、ペタリッ！と大地に座り込んでしまいました。

寝ころんで空を見て、その時初めて雲が見当たらないことに気が付きました。どこまでもどこまでも続く真っ青な空。いや、青というより、青黒い！ボクの身体は、そのまま、天へと落ちていくような、そんな透き通った青黒い空。空気中にホコリが少ないせいか、エルサレムという標高800mの丘陵にいるせいか、日本では見たことのない空の色だ！

「これが、そう思わせた正体か！」

つと同時に、

「だから、エルサレムが聖地といわれているもとなのかもしれない！」

そんな実感が体中に伝わってきました。地球上に様々な点が存在しているなかで、地場そのものが、ものすごいパワーを持っているところがあり、反対に、近寄りたくない程、気味の悪い感じのする場所（一説に気枯れ地とも呼ぶ）があります。人は大地に生かされている以上、日々、様々な影響を受けて生きているものですね。

א ב ג ד ה ו ז
ח ט י כ ל מ נ
ס ע פ צ
ק ר ש ת

左の文字はヘブライ語の子音25を並べています。イスラエルの起源は、紀元前3500年前。当時のヘブル人が、その昔文字として考えだしたもので、一つひとつの形態が宇宙原理の絶対性を象形化したものだといえます。完璧を求め絶対性を文字のかたちにした意識。民族というものを深く考

CDをリニューアルしました



陽が昇る
真っ暗闇から東の空が色付いてくる
一日の始まり
刻一刻と
その色は黒から群青、そしてブルー
黄色、橙、赤、金色となり、やがて…
大空は次第に白色化していく
日々、何気なく繰り返している壮大なる
変化によって
一日の生命が始まる

生きている

生かされていることの体感が
体中を突き抜ける
ETERNITY
永久に…そう願う自身がある

そんな思いで、綴られたアルバムです

2009年3月15日 白井洋志

翻訳 覚張由美子 録音 川島隆臣
録音編集 有田時彦 製作協力 ANGI Esound project
録音日時 2007/9/13



- CD ETERNITY 2007 製作
- CD 空 1992 製作
(エルサレムの空を含め全 7 曲)

どちらも ¥2,500 - (送料別途) です。ご注文いただきましたら、お送り申し上げます。

オリジナル珈琲も 200g 入りで受注、承っております。ご連絡いただきましたら、併せてお送りいたしております。

お知らせや日々想うことを、月に一度発行し、これまで御縁の方々にお送りしております。ご意見、ご感想など、メール又は FAX にてお寄せ下さい。御協力していただける方は、下記の口座にお振り込み、お願いいたします。又、御不要と思われる方はどうぞ御一報下さい。

FROM AGAPEART

〒679-4177 兵庫県たつの市龍野町下川原 79-1 tel.0791-63-5980 fax.0791-63-5981

E-mail agapeart@keitainet.net <http://www.keitainet.net/agapeart/>

月刊紙 2009年9月1日 第9号発行 文責 白井洋志

年間購読協力金 ¥3,000- 振込先：郵便振替 00900 5 78537 あがべあーと